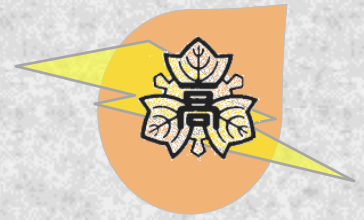


東京冀北

令和2年11月



コロナクライシスで何を学ぶか



橋本和久

高19回卒

東京冀北会
会長

昨年の総会において第7代会長に選任されて、わが母校の創立120年の伝統と、東京冀北会の30余年の歴史を振り返ると、その職責の重さに身の引き締まる思いです。微力ではありますが、新役員・事務局とともに同窓会の充実発展に向けて努力いたす決意であります。ところが、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態になり、残念ながら本年の総会・懇親会は中止することに致しました。

この戦後初めてと云ってよい国家的危機に、我々ほどのように対処したら良いかを考えてみました。危機下の指導者（政治家）の要諦とは、人々の恐怖心や動揺を鎮め、周囲を納得させる能力と信頼を備えていることがリーダーシップであると言われています。国民も指導者にファインプレーを求めたり批判するだけでなく、コロナ禍で知った大切な時を濃密に生きることに、人と人との信頼と絆をより深めることが必要だと思います。都市封鎖も外出禁止令も行わず、緊急事態宣言での自粛要請により冷静に対応していることは国民の民度の高さであります。清潔好

きで勤勉で肅々と行動し、互いに信頼することによりコロナウイルスとの戦いに必ず勝てると思います。

この時期、趣味の名城・神社仏閣・庭園巡りをするので日本の歴史伝統を学び直そうと思ひ、三密回避と巣ごもり生活のストレス解消を兼ねて、比較的マイナーな名所旧跡を巡りました。いくつかをご紹介します。

★大雄山最乗寺（南足柄市）曹洞宗道了尊者（開祖慧明禪師弟子）が天狗となり近江国より飛来したとの天狗信仰が有名

★大山（雨降山）阿夫利神社（伊勢原市）阿夫利神社と大山寺の神仏習合で有名 頂上よりの相模湾、三浦半島の展望は絶景

★肥後細川庭園（文京区）熊本藩三代細川忠和の下屋敷跡 隣接の永青文庫（宝物殿）は18代当主細川護熙元総理が理事長

★殿ヶ谷戸庭園（国分寺市）江口定條（貴族院議員）の別荘 岩崎彦彌太が所有し邸宅（随宜園）立川段丘が園内にある

★旧古河庭園（北区）明治時代外相陸奥宗光の別荘 古河財閥古河潤吉2代当主が所有
和と洋の調和した西洋庭園と日本庭園の美

★無量山寿経寺（文京区）浄土宗 家康公の生母「お大の方」の菩提寺で法名の「伝通院」に 増上寺、寛永寺と並び江戸三霊山



大山阿夫利神社

代の同窓生が集い、絆を深め、東京東北会が益々の発展で、皆さまよ、皆様のご支援、ご協力を、お願い致します。

我が故郷にも多くの名所旧跡(大日本報徳社、掛川城、高天神城跡、遠州三山等)があり、



肥後細川庭園

帰省自粛ということで行けませんでした。毎年恒例の本部同窓会総会も中止となり、旧友との交流、お盆の墓参り等もできず、人とのふれあいの大切さを知りました。

本年4月1日、我が母校掛川西高校はその前身掛川尋常中学校が明治34年(1901年)に設立されて120周年を迎えました。この記念すべき年にもかかわらず、年初から始まった新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せないために東京東北会におかれては今年の総会が中止となり、楽しみにしておられた会員の皆様には残念な思いでおられることとお察し申し上げます。掛川同窓会においても夏の総会及び10月30日に予定していた120周年記念式典も中止のやむなきに至り、また、貴会以外の各地区東北会も浜松を除いて中止のやむなきに至りました。幸い、120周年記念事業については、同窓生、PTA、地元企業・団体などからの寄付金が2040万円と目標の2000万円を上回ることでできました。この結果、記念事業については、記念式典以外の予定していた①図書館・特別教室のエアコン設置などの学校環境整備、②記念誌及びそのDVDの編纂を実施することができるようになりました。

破げず撓まず崩折れず



掛川西高校 同窓会長 石川嘉延 高11回卒

ここに、改めてご協力下さった各位各方面に深甚なる感謝を申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症パンデミックにより浮き彫りになったグローバル化の問題点を踏まえ、これまでの国際秩序、そしてそれぞれの国のあり方の大転換が確実視されていますが、それがどのようなものになるか、今現在、その全体像が見えません。

しかし、重要なことはこの大転換の中で我が国の安全確保と繁栄をどう実現していくか、そして、我が国が先進国としての自覚と誇りを持つて国際社会の安寧実現に貢献していかねばならないということです。

このためにはこれを担う人材、特に青少年の段階からその志を持つ人材を育成していかなければなりません。

この点で創立以来120年にわたり有為な人材を送り出して来た我が掛川西高校の果たすべき役割は極めて大きなものがあります。

母校がこの期待に答えていくためには同窓生各位が引き続き母校に関心をよせ、有形無形の応援をしていただくことが欠かせません。

どうかよろしくお願いする次第であります。



同窓会誌「東北」vol.36が発行されました。(2020.8.19) 掛川西高校のホームページ「卒業生の皆様へ」で閲覧できます。

(近況報告) 臨時休業中の授業動画配信の取組について



掛川西高校 校長 櫻井宏明

こんにちは。

今年、本校創立120周年に当たる記念すべき年でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、同窓会総会はもとより、東京東北会をはじめとする各支部総会が中止となり、大変残念です。学校におきましても、3月に約半月、4月から5月に1か月半、県教育委員会の方針で一斉臨時休業となり、文化祭や高校総体も中止になりました。今回、会報「東京東北」への寄稿依頼がありましたので、4、5月の臨時休業中に本校が行った授業動画配信の取組について報告いたします。

4月10日からの一斉臨時休業が県教育委員会から通知されてから、職員研修、保護者・生徒への説明、受講環境の調査、試行期間を経て、4月24日から授業動画配信をスタートしました。これは、異例のスピードだったと思います。臨時休業の長期化が予想される中、大学受験を目指す3年生、入学したばかりの1年生のことを考えると、授業を前に進めていかなければという思いが強かったからです。

県教育委員会の推奨していたグループ・クラスルームというアプリを利用して、時間割どおりに、全科目の授業を配信しました。動画は、家庭のWi-Fi環境への配慮から、各授業10分程度です。本校教員の手作り録画に、個々の生徒に与えられたアカウントを用いてアクセスする形式で、全生徒が、自宅に居ながら、パソコン又はスマートフォン等で授業を受講することが可能になりました。教師の説明やアドバイスを動画で受けつつ、生徒は新しい単元を効果的に学び進めることができたと考えています。

この時期の臨時休業中に全科目の授業を時間割どおりに進めていくことができたのは、本県の県立高校では本校のみであり、全国的にも稀だと思えます。この取組は、5月1日教育新聞、5月8日静岡新聞、リクルート社「キヤリアガイダンス」7月号等で広く報道され、県教育委員会は、「掛川西モデル」として、全県の学校に広めていくとしています。

掛川西高校は、地域から信頼される高校として、これからも挑戦していきたいと思えます。同窓生の皆様には、今後とも御支援のほどよろしくお願いいたします。



同志 梨田さんお帰り



村田 繁
高10回卒

日本国内は勿論、世界中を震撼させているコロナウイルスの蔓延。人気タレントの志村けんさん、女優の岡江久美子さんらがこの病魔により亡くなった。恐ろしいこのコロナ禍から一時は呼吸困難に陥り人工呼吸器をつけて闘病した梨田昌孝さん(67)が苦闘の末、健康を回復した。

「医療関係の方々への献身的治療により何とか生還しました。皆さんの励ましに感謝するばかりです」

会見でこの第一声を発した梨田さん。毎日心配しながら過ごしていた私は心底から安堵した。

梨田さんと私は勝手に『同志の仲』だと思っている。平成元年から同20年大晦日まで20年間NPB・パ・リーグ事務局長を勤めた間、セ・リーグに人気・観客数で大差をつけられていたパ・リーグを、人気・実力でぐんと押し上げようと改革を重ねた。札幌へ日本ハム、千葉へロッテ、福岡へホークスを戻し、新たに仙台へ楽天のフランチャイズを置いた。このフランチャイズ整備から始まり、消化試合を無くそうと打った『プレーオフ制度』(現クラ

イマックス・シリーズ)に、予告先発、それに念願のセパ交流試合の実現へと、すべてパ・リーグ主導で突き進んで今日がある。

梨田さんは近鉄の捕手から監督を経て、日本ハム、楽天の監督も勤めた。温厚な人柄とハンサムな姿。特に女性の人気はすごかった。

しかしパの人気低迷にはいつも気にかけていて「良いと思ったらどんどんやりましよう」と声をかけてくれた。この精神は故人となった仰木さん(オリックス)、上田さん(阪急など)の意を受け継ぐもので、梨田さんは積極的に改革へ協力してくれた。

時あたかも野茂、清原、松坂、ダルビッシュらアマの超人気選手が続々とドラフトでパ・リーグに入ってきた幸運もあり、平成時代の始まりと共にパ・リーグは人気急上昇。球場の広さをセより広くしたことも相乗効果を表し、強さ、パワーが増した。セ・パ交流試合はいつもパの圧勝である。

梨田さんの愛酒は『天孫降臨』という焼酎。天照大神の孫が高天原から日



日ハム監督時代の梨田さんと

向の高千穂峰に降った神話からとられた一品。一時は生命の危うささえ味わった我が同志の梨田さん、完全回復したあとの一献、どんな味がしたか、今度会った時に聞いてみよう。終

*梨田昌孝 1953年生まれ 島根県出身 浜田高からドラフト2位で近鉄入団 捕手 ベストナイン3度 近鉄、日本ハム、楽天で監督 現 野球解説者・キヤスター

*村田繁 1939年生まれ 金谷町出身 スポーツニッポン新聞社から平成元年に日本野球機構NPBパリーグ事務局長 現 東京運動記者クラブ会友

「ハーモニカ」を吹く!

秋野文子

(旧姓 谷)

高14回卒

私は掛西14回卒業の76才です。3年前に脳出血を起こしてしまいました。

今はデイサービスなどを利用しながら自宅生活をしています。右半身麻痺なので、車椅子を使つての移動です。文字を書くのも、携帯を使うのも、ハーモニカを持つのも効き手でない左手だけなのです。

私は元来、ピアノを弾くことや、文字を書くことが好きでした。

若い頃に弾いた、ベートーベンやモーツァルトのソナタなどを、70歳過ぎてもしっかりと弾いていました。

そこへ、脳出血です。参りました。



ピアノ発表会の日 (3年半前)。今、心は、とっても元気

最近ようやく、ピアノを左手だけで弾く気持ちになりました。山田耕筰の「赤とんぼ」です。文字も、「あかとんぼ」と、筆ペンで書きました。歌ってもみました。
私はスメタナの「モルダウ」が好きなのです。
モルダウはスメタナの「My Country」の中、モルダウ川の光景を描写した交響曲です。チェコ、150年前の曲です。日本は明治維新、モーツァルト、ベートーベンに至っては更に50年100年前になります。ふたりの音楽は今でも多くの人に親しまれています。
私はピアノの発表会で「モルダウ」を弾きました。ピアノ曲に編曲したものです。発表会では、たった1曲3分です。その為に練習します。ノンミス



「紅葉」「旅愁」
「翼をください」
「風に吹かれて」
(Bob Dylan)「荒城の月」吹きたい曲が、ハーモニカ伴奏したい曲が、いっぱいなのです。

で弾くのは大変なことでした。
当日、何とか上手く弾けました。今は右手が動かないから弾けません。高校生の孫娘が、コロナ自粛で時間ができ、右のパートを弾いてくれたりもしました。嬉しいことでした。
週末よく私は、特養(特別養護老人ホーム)のショートステイ(短期入所)を利用します。「こもれびの森」と言う自宅近くの、散歩コースを抜けた、日当たりの良い所にあります。
86才になる愛子さんと、よく一緒にになります。1ユニット10人、個室。明るいろいびングで、小さな花瓶に活けられた野菊のスケッチをする人、漢字の書き取りをする人、いろいろです。ハーモニカを、そつと吹きます。私は定番で「兎追いしかの山」と。愛子さんは、微笑みながら、いつも涙を拭きます。そして、二度目には静かに歌います。「ふるさと」は利用者や職員、誰の心にも素直に響くようです。
「できる時に、できる事を、楽しく、一生懸命、人の中で！」そんな気持ちなのです。

「嵐」櫻井翔君を指導した思い出



千葉東洋 高18回卒

私は東京で水泳指導を始めてから、もう少しで半世紀に成ろうとしています。週6日プールに入っている小学生水泳指導の仕事です。大学卒業後、水泳を仕事としてきた訳ではなく、フリーのイラストレーターとして絵を描く仕事をしていたのですが、空いた時間に掛西水泳部の経験を買われ、著名人のお子さんの水泳指導を手伝った事が切掛けで、この仕事をいまだに続けています。

今迄水泳指導をした子供は4500人程に成りますが、その中でも『嵐』の櫻井翔君は特別な思い出が有ります。彼が「アイドルグループ『嵐』の櫻井翔」になったのは東洋スイミングが有ったからなのです。

彼は小2から小6までの5年間週一の練習の他、夏の水泳合宿、冬春のスキー合宿迄クラブの活動全てに参加し身体は小さく水泳も特別速かった訳ではなかったけれど、私にとってはその学年の中では中心的な生徒の一人でした。彼が小学校最後のスキー合宿の時、コーチとして帯同した教え子の女子スタッフが私に言った言葉が、彼をその

気にさせたと言うのです。「千葉ちゃん！翔君は将来絶対にアイドルになるから、今の内に彼とのツーショット写真を沢山撮って置いて下さい！」カメラを持っていた私は言われた通り沢山のツーショット写真を撮ってあげました。

そのやり取りを聞いていた彼は、その1年後親に内緒でジャニーズのオーディションを受け、芸能界入りしたと言う訳です。勿論私の撮ってあげた写真を同封しての応募です。オーディションと同時に春休みのスキー合宿にも申込みをしていた彼は、律儀にも私にスキー合宿キャンセルの葉書をくれました。その葉書が先日事務所の引き出しから見付かり、私のお宝になっています。

コロナが騒がれ始めた2月の連休には、彼の同級生が発案した「卒業生での「東洋スイミングスキー合宿」に行ってきた。12名の参加者の中には勿論翔君をその気にさせた女性も2人の子供連れで参加です。

未だに教え子達との繋がりと沢山の教え子二世の水泳指導で引退を考える暇もない楽しい毎日を送っています。



卒業生の友人の結婚式にて

ダンスと私

眞野 啓

高20回卒



2019.11.10 ねんりんピック

会員の皆様、コロナ禍の世界をどの様にお過ごしでしょうか？本年は東京冀北会同窓会が開催出来ないとい、誠に残念です。しかしながら、会報にて皆様とお目にかかりたく寄稿いたしました。

最初に、自己紹介をさせていただきます。昭和24年掛川市塩町で生まれ、掛川第一小学校、東中学校、掛川西高校、清水海員学校を経て、日本郵船の船員（19年間）、社外出向後に東京湾水先区水先人会職員（26年間）を務め、退職して6年目となります。住まいは港横浜です。

私とダンスとの係わりはあの映画、そうです「シャルウィ デダンス？」を観てから始まりました。ご覧になられた方も多いと思いますが、ほんとに楽しい映画でした。

自分も主人公のようにあこがれの先生とダンスをしてみたいと思いい立ち、元町のダンス教室に通い始めました。どんな先生か？美しくて素敵で先生でした！（ご夫婦で教室を開いていましたので、ご安心を！）初めはダンスの基本から先ずは立ち方、組み方、そして音楽の取り方。

ひとくちに社交ダンスと言っても色々あります。ラテンダンスはマンボ、ジルバ、サルサ、チャチャチャ、ルンバ、サンバ、パソドブレ、ジャイヴ、等々です。映画の中ではマンボを生徒全員で習っていました。

スタンダードの種目はブルース、ワルツ、タンゴ、クイックステップ、ウインナワルツ、スローフォックストロットなどで、映画の中ではあこがれの先生にワルツを習っていました。もちろん私もワルツを習いましたが、映画と同様になかなか難しい思いをしました。

2年ほど教室に通い、なんとかダンスパーティーデビューができました。さて、次は競技会を目指して同じ教室のご婦人とカップルを組んでの練習の毎日です。



2014.5.23 ブラックプールはがき

まさに映画の世界と同様で先生からの厳しいレッスンに耐えて競技会出場しました。

石の上にも三年とかで、燕尾服とドレスを着て競技会に出場して入賞も果たすことが出来ました。

次の目標は、映画の中にも出てきたイギリスのダンスの聖地ブラックプールへの出場希望です。周囲の人のご協力アマチュアのシニア戦に出場が決まり、2014年5月に渡英することが出来ました。世界的なダンサーの踊りを目の前で見ることが出来て感動しました。

帰国後の競技会では一皮むけたダンスで好成绩を残せました。

また、2017年8月にはドイツのシュトゥットガルトでのジャーマン大会にも参加することが出来ました。2019年11月には和歌山県那智勝浦町で行なわれた「ねんりんピック」に横浜市の代表として出場も果たすことが出来ました。この「ねんりんピック」は全国大会規模の大会で、ダンス部門では全国の60歳以上のダンサーがなんと69チーム（621人）も参加しました。私たち横浜チームも大活躍しました。

現在、コロナ禍で多くの方々が趣味活動を自粛されています。しかしながら、趣味活動はより良く暮らす為の糧だと思えます。私が係わっていますダンス活動は正に三密の温床ですが、マスクを着け消毒液による手洗いをし、少人数でのレッスンやパーティーを行

っています。長きにわたつての自粛を乗り越えてレッスンに励む姿は、清々しい笑顔です。

どうぞ、会員の皆様も楽しい趣味活動をお続け下さい。

継続は力なり



安西裕志

高21回卒

新型コロナウイルスの影響は東京オリピックだけでなく、国内各地で予定されていた他のスポーツイベントも巻き込み、ヒルクライムを楽しむ自分にとってはモチベーションを維持していくのがとてもきつい一年となってしまった。

肥満防止の目的で40歳から始めたサイクリングも、最初の頃は学生用の重い自転車を使用していたが、知人の勧めもあり浜松市内にあるイチヤサイクルでクロモリ素材のロードレーサーをオーダーしチャリダーの仲間入りをした。（クロモリとはフレームに炭素鉱とクロモリブデン鉱を混ぜた素材で、弾性があり捻じりに強いため競輪選手向きであるが、アマチュアにはカーボン素材のほうが人気がある。）

当時は袋井市内の工場に勤務、朝六



「2018年乗鞍ヒルクライム」にて

時に広愛大橋を渡り法多山方面へ、焼却場の坂道を昇り浅羽町へと抜けながら街中へ戻るルートを、雨が降らない限り毎日黙々と走り続けた。

週末には森町から春野町に足を延ばし、月間走行距離は500キロを超えていた。

2年後サイクル店主催の「浜松く糸魚川サイクルバルツアー」に参加することになる。参加人数約100名、3つの班に分かれた50人の集団は19時新潟を目指しスタートした。

引佐町を北上し、土砂降りの中を深夜飯田市に到着する。明け方には雨は上がり、伊那く松本く白馬を左手に見ながら千国街道を進み、翌日の15時過ぎに日本海の見える糸魚川にゴールした。所要時間18時間30分、道程350キロ、42歳の時であった。

45歳で東京へ転勤になるが、身体には既に運動習慣がついてしまいつとしていられない。週末には相模原の自宅から江ノ島、相模湖、宮ヶ瀬ダムによく出かけた。

50歳を過ぎ深夜高速バスや電車に自転車を積み目的地まで行く「輪行サ

イクル」を始める。八戸く仙台く銚子、稚内く函館、富山く木曾福島く恵那、徳島く土佐くしまなみ海道、相模原く白樺湖など海沿いや山間部をひとり旅するようになり、月刊雑誌「サイクルスポーツ」の読者コーナーに紀行文を4回投稿させてもらった。

知人から山岳レースの醍醐味を洗脳され61歳から挑戦することになった。国内には「坂バカ」と称する登り坂大好き人間が沢山おり、夏には皆揃って乗鞍に集合する。その数約4500人。

乗鞍観光センターをスタートしゴール山頂の畳平2716Mまで標高差1260M、距離20・5Kのスカイラインを駆けあがる国内屈指の熾烈な山岳レースである。しかし、完走はできたものの結果は散々なものであった。

練習不足、自転車の車重、体重？いような課題はあるが、現在四台目のバイクに乗りながら日々迷い続けている。車重やギア比は微妙なもので練習量と体調が上手くかみ合わない道具は完璧に伝えてくれない。「継続は力なり」という言葉があるが、何千キロも走ってきたこの30年間、ふくらはぎのヒラメ筋は鯉節のような形を成し、正に貯筋とはこのことだとつくづく感心する。

私には過去、車との接触や自爆事故で3度も救急車のお世話になったことがある、左手首には固定金具が入っている、従って常に無理せず安全走行を肝に命じている。

間もなく70歳になる、私にとって

の老いとはヒルクライムレースに参戦できなくなった時だろう。乗鞍には85歳の常連さんも居りまだまだ先は長い。毎年6月に開催されていたMT富士ヒルクライム(五合目をゴールとするレース)が9月下旬に延期されることになり、出場者の再募集が始まった。エントリは済ませたが、これが実施されれば今年の締め括りが何とかできそうな2020年である。

仕事そして定年



松島 広司

高26回卒

高校を卒業して45年余、今年ついに65歳となります。吉田拓郎の歌にもある様に♪私は今日まで生きてみました♪という心境です。

国連の世界保健機関(WHO)の定義では、65歳以上の人のことを高齢者と呼ぶようで、ついに高齢者の仲間入り。

思えば高校1年の時に、テレビにワクワクしている自分に気がつき、自分もテレビでみんなにワクワクさせるようなモノを作りたいと思うようになったのがきっかけでした。アシスタントディレクターを5年続け、怒られながらも仕事を覚えてきました。どんな仕

事でも同じだと思いますが、下積みの経験(基礎)をやらないと上には上がれないものです。

テレビの仕事といっても職種は多岐に渡り、大きく分けて美術・技術・制作となります。簡単に言いますと、美術は道具、小道具、衣装、メイク。技術は映像、音声、収録、送信、編集など。制作といえばプロデューサー、ディレクターなどですが、制作は

技術・美術など総合的に統括するのが仕事なので、聞こえはいいが意味雑用でもあります。私は制作でしたが、制作をしているとみんなの協力がなければ何もできない事を痛感させられます。自分のやりたいこと(演出)をするためにスタッフに何をどう伝えればいいのか重要になります。自分の考えだけでは限界がありますが、やはり

「餅は餅屋」専門部署の人たちは思わぬ方法を提案してくれたりします。また、うまくいかなかった時やミスをした時などはどうやってフォローするか、頼れる仲間を負うところが大きいと感じたこともしばしば。

♪時には誰かの力をかかって、時には誰かにしがみついて♪といった具合です。どんな仕事でも変わらないと思います。信頼できる仲間がいるのは財産です。

今までに関わった番組は、日本テレビの笑点、お笑いスター誕生、お笑いウルトラクイズ、高校生クイズなど、またフリーになってNHK教育・テレビ東京などで旅番組・温泉番組・情報

番組、TOKYO MXに入ってからからは東京都提供番組やスポーツ中継（高校野球、プロ野球など）、再びフリーとなり情報番組のスタッフとして未だに業界にしがみついています。

♪今私は思っています、明日から新しい生活をしていきたいと思います。という感じで、仕事がある内は続けていきます。

「好きな事を仕事にできた」事はそれ自体が幸運なことなのだと思います。

新たな日常から 新たな気持ちで



米澤 由美子

(旧姓 菅沼)

高29回卒

「岩根こごしき天守台 その麓にぞわが校は」掛川西高等学校校歌の歌い出しで思い浮かぶのは、ブラスバンド部で練習を続けた日々、私にとって天守台はロングトーンをする場所でした。眼下に見下ろした西高は今も思い出されます。実家は逆川沿いにあり、通学は徒歩五分、堤防沿いの道を、川のせせらぎを聞きながら歩きました。幼い頃、鼻歌を歌いながら歩いた道です。まさに「基定めて逆川の 流れゆくこそ 楽しけれ」です。県内各地から入

学された皆様には申し訳なく思います。楽しかった高校三年間、大学卒業後は神奈川県相模原市の小学校教員となりました。沢山の子供達に出会い、多くの教職員と仕事をし、保護者や地域の方と子供達の成長を支えてまいりました。時々声がかかる同窓会では、すっかり大人になった教え子に囲まれ、昔話に花が咲きます。結婚や子育てについての話を教え子とするのは、なんだか不思議な気がします。学校や教育委員会など所属はその時々変わりましたが、ずっと教育の仕事を続けられたのは家族や周りの人たちの支えがあったからだと感謝の気持ちでいっぱいです。結婚、出産、子育て、家族と共に笑ったり泣いたり思い出があふれます。とても充実したかけがえのない、楽しい時間でした。

令和元年は校長として最後の年、集大成の年でしたので、思い入れがありました。そんな中、二月末に宣言された新型コロナウイルス感染症の影響による休校措置、あの日から学校は一変しました。卒業式はかろうじて挙行できましたが、練習してきた子供達の歌声も言葉もありませんでした。体育館が密にならないように配慮し、在校生や保護者の参加もありませんでした。証書を渡しながら卒業生と目を合わせ、互いに涙があふれたのを思い出します。その後も、休校措置は続き、予定されていた行事はのきなみ中止となり、私は全校児童や保護者、地域の方と会することなく、三月で学校を離れました。

教職員の人事異動特集を新聞で見て知った保護者が来校したり手紙が届いた「校長先生はどこにいつちやったの？」と幼い子供達が呟いたり職員も戸惑ったと言います。

コロナ禍の中で迎えた四月、今思えば、心の区切りをつけるのが少し難しく、一抹の寂しさを感じながらの新たなスタートでした。私の仕事場は教育委員会の教育センター、週四勤務の再任用指導主事として、研修や相談、教員志望者を育てる仕事をしています。そして6月、長かった休校措置が解除され学校再開、子供達の声が各学校に戻ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続いています。学校を訪問すると頑張っている先生方を目の当たりにします。安全面や衛生面に細心の注意を払い、日々の教育活動を進めています。学校は「学び合いの場」です。子供達は集団生活で様々な学びを獲得します。ソーシャルディスタンスが叫ばれる中「学び合い」にも新しい形態が導入されています。文科省が進めるGIGAスクール構想、オンライン授業の環境も加速度的に整ってきました。AI時代、情報化社会で教育現場も変化するのは当たり前のことです。

でも、ずっと変わらないのは、未来を担う子供達一人一人が、物語の主役だということです。子供達が自らの力で、夢や希望に向かって歩むことができるように、学校では生きるための基礎的な力を育てています。私達が見据



講話朝会の様子

書店昔ばなし



岡田昌宏
高30回卒

私の実家は30年程前まで掛川市内で書店を営んでおりました。社長だった父が亡くなり、会社としての有限会社岡田書店を清算したのは2010年のことでした。東京冀北会会員皆様の掛川西高在学中におかれましては、教科書や参考書などの書籍購入を通じて大変お世話になりました。また今日に至るまで店じまいをご報告申し上げます。ことができず、心苦しく思っております。今般ご挨拶の機会を得て、改めてご報告申し上げる次第です。長年のご愛顧、誠にありがとうございました。さて、ご挨拶はこの位に留めます。近年のIT技術の発展はGAFと呼ばれる巨大企業を生みました。そのうちの一つは私にとってお馴染みの商売です。ご存じのとおり、アマゾンには本屋さんです。書店には巨大IT企業に発展する要素があったのです。半世紀も昔の話になりますが、1970年代にISBNと呼ばれる本を識別する国際的な規格コード・国際標準図書番号が使われるようになりました。このISBNコードで本を発注すれば、どのような田舎の本屋でも世界中の本

を手にすることができず。書籍業界にはそのような流通網の基盤技術が既に存在したのでした。

1980年代初頭に世界規模で情報網を接続するインターネットという概念が提唱されました。やや遅れて、我々もパソコンと呼ばれる小型コンピュータを仕事に使うようになりました。パソコンが文字通り一人一台手元に置かれ、インターネットにつながるの1990年代半ばのことでした。電子商取引の手法もこの頃に開発されたと思います。

ウィキペディアによるとジェフ・ベゾスがオンライン書店アマゾンを開業したのは1995年のこととされています。当時ベゾスが調査したオンライン販売できる有力商品のベストファインの中に書籍がリストされていたのでした。半世紀前からあった書籍の物流網の基盤に電子商取引の手法が融合したのはこの時であったと私は考えます。岡田書店の実質的な店じまいは1990年頃のことでした。父からは「岡田さんは良い時期に店じまいした」と同業の本屋さんから羨ましがられたと聞いています。



シャッターが閉まった「岡田書店」2020年

慶大メディア

コミュニケーション研究所



鈴木秀美
高30回卒

慶應義塾大学に着任して5年半になります。掛西を卒業し、慶應義塾大学の学部・大学院で学んだ後、ドイツのケルン大学に留学（ベルリンの壁崩壊の時期）、その後、大学教員になりました。私の専門は憲法学で、報道機関の取材・報道の自由、放送の自由と放送法制、インターネット上の表現の自由とその限界などを研究しています。大学での教育・研究のかたわら、毎日新聞「開かれた新聞委員会」、NHK「受信料制度等検討委員会」、関西テレビ「オンブズ・カンテレ委員会」、日本原子力研究開発機構「情報公開委員会」などの委員もしています。

慶大の前は大阪大学の法科大学院で法曹を目指す人たちのための教育をしていましたが、いまは慶大メディア・コミュニケーション研究所（旧新聞研究所）で学部生に憲法とメディア法を教えています。この研究所は、来年度創立七五年、慶大のすべての学部生に副専攻としてジャーナリズムや広告などについての教育プログラム（二八単位）を提供しています。履修できるの

は、2年生から4年生で、定員各学年60名程度です。慶大の中に小さなジャーナリスト養成学校があり、学部とのダブルスクールが可能になっているわけです。毎年、希望者多数のため、筆記試験・面接試験で履修者を選抜しています。

この研究所の教育プログラムは、研究者が提供するアカデミックな授業と、新聞社、通信社、放送局、広告代理店等で経験を積んだ講師陣による実践的な授業で構成されています。読売新聞、共同通信、PR会社のプラップジャパンの寄附講座もあります。また、研究所の卒業生の同窓会（綱町三田会）があり、記者の先輩たちによるジャーナリストを目指す学生のための自主ゼミや、卒業志望分野別の模擬面接などの就職活動支援も行われています。



インターネット、とりわけスマホの普及を背景として、若者の間ではメディア不信も根強いですが、今年のコロナ禍をきっかけにして報道への関心が高まり、またAIにはできない仕事としても、慶大ではジャーナリスト志望者が増えているようです。定年まであと少し、日本の未来を支える若者を大切に育てていきたいと思っています。

ホームステイボランティア

として



田中由枝

(旧姓 岩瀬)

高30回卒

夫の転勤や子供の成長、環境が変わるごとに、ご近所づきあいも、友だちづき合いも変化しましたが、25年間変わらずに続いていることがあります。それは、留学生や研修生を受け入れるホームステイボランティアです。子どもたちには人種や肌の色等の偏見にとらわれることなく、広い世界を知ってほしい。そんな思いから始めたボランティア活動でした。子どもたちも成長し、今ではそれぞれの得意分野でゲストと関わり、楽しんでいきます。

東京2020オリンピック・パラリンピック大会、埼玉県版ホームステイボランティアとしても登録、活動しています。その活動の一環として、2019年10月ニカラグア大使館のロドリゴ大使と、秘書のマリアさんが、わが家に1泊2日のホームステイにやってきました。ホストファミリー歴が長いとはいえ、大使をお迎えするのは初めてでした。いったいどんな方なのか。お食事は何を用意しようか。と、いささか緊張しましたが、ホームステイ当

日、対面した瞬間から打ち解けることができました。当日はラグビーワールドカップの日本対サモアの試合があり、中継を見ながら一緒に応援し、トライが決まるたびにハイタッチ、試合終了後は勝利に歓喜し、祝杯をあげました。楽しかったホームステイの思い出も覚めない12月、今度はロドリゴ大使が大使公邸に招待してくれました。もちろん、遠慮なく、家族全員でお邪魔しました。この日は「今日は僕がシェフです」と、大使自ら料理の腕を振るってくれました。日本とニカラグアとのFusion&創作料理でしたが、とてもおいしくて、おかわりしてしまいました。その後も私たち家族とロドリゴ大使、秘書のマリアさんとはラインで繋がっていて、近況報告等のやり取りをしています。

25年の間、たくさんの人と出会い、出会った数以上の素敵な思い出ができました。そしてこれからも、さらに多くの人と出会い、さらに多くの素敵な思い出を作っていきたいと思っています。



ニカラグア大使公邸にて

常識を疑え



田中保次

高37回卒

在学当時、英語を担当されていた五味勝明先生が授業中におっしゃった一言が、その後の私の人生に大きな影響を与えた。教科書通り「1+1=2」などと教えることはなかった先生のご指導のおかげで(?)すっかりひねくれ者となった私は、卒業後進学した大学を



エルサレム旧市街「嘆きの壁」にて

中退、米南部の国立大学に編入した。勉強の合間にキャンパスのジムで身体を徹底的に鍛え、週末はビール片手に友人とアメフト観戦という日々を過ごし無事卒業。時効だから白状するが、高校2〜3年生時、掛川城周辺で色々悪事を働いた経験が生きた。一見バカバカしく見える「悪戯事」こそが案外大事であり、

一心不乱に何かに没頭することで皮

むけると感じたのを覚えている。当時



アメリカ州立大学での卒業式

り、また保守的な土地柄ということもあって中東イスラエルに関心を持ち始めた。卒論で世話になった教授に推薦状を書いて頂き、父と別れの盃(!)を交わした後、エルサレムの某大学院への編入を経てテルアビブのITスタートアップ企業に就職した。「ユダヤ人が2人集まると政党が3つできる」の諺通り、イスラエル人同士が話し出すと議論が終わらない(笑)。また、ユダヤ民族の苦難の歴史から「自国の安全保障を他人に委ねない」という覚悟のようなものを目にしたことで私の価値観は激変した。五味先生とはその後何度かお会いする機会があり、そのことを伝えると、「新たな価値観の衝突が人生を豊かにするんだよ」とおっしゃって下さった。教え子が変わり者がまた一人増えた、先生も内心嬉しかったのではないかと。米国ソフトウェア会社を経て、現在は以前から関心があったイスラエルのサイバーセキュリティ企業で勤務している。サイバー戦争では良心・観念なるものは一切通用せず、また、背後に

ある国際情勢は絶対に報道されない。諸外国のサイバー部隊が仕掛ける高度な攻撃を許せば、重要データの漏洩のみならず、公共インフラ・金融システムへの影響は必至だが、日本では「見えない戦争」への認識が不十分であることに強い危機感を感じる。テルアビブ・ボストンのマルウェアアナリスト、製品プラットフォーム開発チーム達と喧嘩しながら日本国&企業を守るのが日常となったが、五味先生がおっしゃった【常識を疑え】は私のDNAとなったといえる。

愉しむ



澤 希美
(旧姓三浦)
高54回卒

2011年から弁護士として働きはじめ、もうすぐ10年になるうとしています。最初の5年は、知的財産、金融、企業間取引と企業法務を中心としていました。気づくと朝になっっていることもしばしばありました。

3年前に長男を出産しました。産後6か月で、シッターさん、岡崎市に住む義母や菊川市に住む母の協力を得て仕事に復帰しましたが、深夜・早朝まで働いていた仕事生活が大きく変わ

ました。息子と夫に早く支度をするようにはつばをかけ、保育園に息子を預け、仕事に取り掛かるも、あつという間に夕方になり、保育園に迎えに走り、就寝前に絵本の読み聞かせをしている際に、うっかり自分が先に寝落ちしてしまう毎日です。



復帰後の業務では、遺産分割や離婚等の家事相談に対応する機会が増えました。家事相談では、法律知識や調査等も勿論重要ですが、生活や家族関係等の実態を掴んだうえで、解決方法を見つけていくことが大切と考えています。あくまで私の場合

ですが、息子が生まれて、両親、義理の両親、姉妹、夫や息子とのかかわりが増えたことにより、より具体的なイメージをもつて対応できるようになりました。弁護士という仕事は争いを連想されがちですが、息子のかわいい寝顔にパワーをチャージされる瞬間のように、心の底から幸せを感じる事ができる時間がより多くの人に訪れるようにと願いながら、日々取り組んでいます。掛西では理数科に入りながらも、理

系の学部は向いていないと感じ、弁護士になろうと法学部に進みました。司法試験の勉強では、数学の証明問題と同じ書き方で良いと気付いてからは、論文に対する苦手意識が薄れました。現在の業務でも、複雑に絡み合った問題を分解・分析し、法律を当てはめる作業は、高校時代に勉強した数学が役立つと感じており、高校時代に熱心に数学を教えてくださいました担任の松本先生と一緒に勉強をしたクラスメイトの存在に感謝しながら、今後も育児や仕事を愉しみたいと考えます。

東京冀北会事務局 紹介

杉森正彦さん(高28回)、杉山文章さん(高29回)はすでに寄稿済です。(30号・31号)

事務局長就任にあたって



東京冀北会
事務局長
後藤利康
高27回卒

高27回の後藤と申します。今年度から事務局長として、東京冀北会の運営に携わることになりました。還暦はとうに過ぎましたが、思いの外体力の衰えはなく、現在もフルタイムで生命



高27回同期と鎌倉散策

保険会社に勤務し、有価証券関係の運用業務に従事しています。会社業務と当会運営の両立は中々大変ですが、微力ながら精一杯取り組んでまいりますので、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東京冀北会には、2016年秋に当時の事務局から「高27回が2017年総会・懇親会の年代幹事なので、同期を取り纏めて欲しい。」という電話を受けたことを契機として、関わってまいりました。それまで首都圏在住の同期で集まったこともなく、またそれ程イケていない高校生活を送った身としては、若干の躊躇はあったものの、遠い昔とは言え3年間お世話になった母校にこれまで何の恩返しもしなかったことと致しました。最終的には11名の仲間が集まってくれましたが、このメンバーとはその後鎌倉散策を兼ねた同期会や、新たなメンバーを加えた飲み会での交流が続いています。現役のビジネスマンとして活躍されている方、新たにビジネスを始めた方、再び勉学に挑戦している方、仲間のポジティブな生き方からは、折に触れ新鮮な

刺激を受けています。

もう少し早くから、集まってあげれば良かったと思っています。大学時代の同期との交流も続いています。同じ故郷で育った仲間とは、実際に会って話をすると、より多くのものを共有していると感じます。私の若いころは連絡を取り合おうにも手段が限られていたが、今はSNSを利用して簡単に連絡を取り合うことが可能ですから、若い方々は早いうちから連絡を取り合って、本会総会・懇親会にグループで積極的にご参加ください。

さて今年度の総会・懇親会は、コロナウイルスの感染が収まらない中、誠に残念ですが中止とさせて頂きました。感染終息はワクチン、治療薬の開発次第という状況で先行きは不透明ですが、来年は無事開催できるよう心より願っています。そして皆様と再び一堂に会し、語らい、ご健康ご活躍を確認し、最後は応援団主導の下、校歌を斉唱してまた気持ちを新たにしたいと思います。

つながる



東京冀北会
事務局
萩原隆司
高28回卒



同期、学年幹事のメンバーと伊香保温泉旅行にて

事務局員に就任致しました。微力ながら会のお役に立てればと思っています。

掛西時代の思い出はやはり同期が主力メンバーで出場した第47回春の春の選抜高校野球大会でベスト8に勝ち進んだことですね。能登川戦、天理戦、堀越戦とアルプスタンドで声が枯れるまで応援したことは忘れられない大イベントでした。そのころ私は真っ黒に日焼けしてテニスコートを駆け回っていました。当時は日焼け止等の対策なしでした。お陰で？現在はシミだらけです。対策はしつかりです。

冀北会へは高校・大学時代に同じテニス部の先輩からの招待で参加するようになりました。総会への参加では四十数年ぶりで同級の沢山の方々と再会することができました。同級生はまた別な感情もあり、高校時代は会話したことのないのに親しくできることへの

喜びを感じています。昨年は少人数ではありましたが伊香保温泉へ旅してきました。毎年計画して今年もと思っていました。新型コロナウイルスであえなく中止。来年も「つながる」を大切にして旅行を実行できることを願っています。

昆虫が好きな卒業生



東京冀北会
事務局
野中 俊文
高37回卒

2019年より事務局員になりました。高校37回卒の野中俊文です。僭越ではございますが、ご挨拶かたがた寄稿させていただきます。

私は、子供のころから生き物が好き

でした。家の横にあった休耕田で小さな虫を見つけてつかまったり、飼ったり、毎日のように楽しんでいました。当時、菊川の自宅周辺には、かろうじてホタル（ヘイケボタル）もみられるなど、色々な生き物がいました。遠くへ行かなくても楽しめました。今、各地で注目されている「里山」の環境が残っていたのでしょうか。そのうち、小学校の夏休みの理科の課題で昆虫採集をしてからは、より昆虫が好きになり、中学でも毎年の夏休みの課題は一貫して蛾を対象として採集、標本づくりをしていました。大学で本格的な昆

虫学や研究手法を学び、社会人になってもプライベートや仕事の一部で昆虫に携わっています。この年になって虫の話をする、「なんで好きなの？」とよく聞かれます。振り返ってみると「好き」を上手に説明できる理由も見つからず、「なんとなく好きで今でも好き」っていうのが現状です。男性はだいたい、「子供の頃は好きだった」なんていわれる方が多いですね。年代もありませんが、それだけその時代には、虫をはじめとした生き物が多かったということの裏返しでもあります。話は少し飛びますが、いろんなところで都会化が進み、人々の生活は都市に集中し、「子供の頃は・・・」などという人もほとんどいなくなり、「虫とか触ったこと」もありません・・・なんて会話が近い将来そこかしこで聞かれるようになるのかもしれない。

仕事や研究、プライベートでいろんなところに行くと、いろんな世界を感じることもできます。最も僕は虫をみつ、いろんな世界、いろんな環境を感じていますが、植物、景色、食べ物、お酒、方言、人の顔つきなど、それぞれみんな異なりますから、何で違いを感じるかはそれぞれだと思えますが、いずれにしても違いがわかると面白い

です。

僕が昆虫に関して学んできたことの一つに「分類学」があります。昆虫でなくても分類学はあるわけですが、私は「昆虫分類学」を学んできました。どんな学問かというと、違いを見つけ

る学問です。つまり、AとBはよく似ているけど何かが違う、どこが違う、どのように違うかということ細かく見ていくのです。その違いがわかる過程がとても面白い！さらにその結果として、新種が見つければ、名前を付けることができるのです。僕もいくつか名前を付けました。皆さんが目にするのではない小さな虫ですが・・・、実は、この冊子が出るころにも1種名前を付けた昆虫が世界にお披露目される予定です。

私もすでに半世紀以上を生き、昆虫との付き合いも半世紀を越えました。楽しい思いもたくさんしてきました。これからもきつと好きでいるでしょう。こんなに人生を楽しませてくれる虫や虫をいじっているいやな顔一つしない（いや、してるか？）家族に感謝して、これからも更に虫を楽しみたいと思います。



エゾヨツメ

国道一号线でつながる 今と掛西に



東京冀北会
事務局
廣畑 淳也

高55回卒

高55回卒の廣畑淳也です。このたび事務局員を仰せつかりました。イベント関係の仕事をしており、お役に立っていることもあるかと思えます。若輩ではありますが、よろしくお願い申し上げます。

さて私は1984年生まれ、旧小笠町出身で、小笠東小・岳洋中から2000年に掛西へ入学しました。入学時は創立100周年ということで、掛高・掛中100周年誌に掲載する写真を、入学式直後に正門前で撮影しました。晴れた日で太陽が眩しかったこと、負けるものかとカメラマンをじっと見ていたことを覚えています。今でも100周年誌の表紙を開くと、写真の最前列でただ一人、真正面からカメラを覗んでいる私がいるはず（笑）

在校中は、生徒会やアウトドア部（通称・山部）で活動したり、友達とひたすらトランプで遊んだり、青春を謳歌しました。ワールドカップがエコパで開催されたのも、葛城祭に志村けんさん、ダウンタウンの浜田雅功さんを

呼んだのも私たちの在校中でした。石川知事、柳澤金融担当大臣という偉大な先輩方も現役でした。

生涯の友人も何人も得ました。私の勤め先は霞が関なのですが隣の官庁街にはこの数年、まさに当時から親友である寺田大輔君（浜岡中）と佐藤昇平君（菊川東中）という2人が勤めており、また隣の御成門ではやはり共通の友人・山田健太郎君（菊川西中）が働いています。たまに集まっては昔話で盛り上がり、かつて毎日顔をあわせて、他愛ないことでも楽しく幸せであった高校時代を思い出します。

ところで大学・大学院では日本政治・行政学を専攻したのですが、恩師は京都大学から学習院大学へ移られた村松岐夫先生でした。大変奇遇なこと高100回卒の大先輩でもあり、学士院会員にも選ばれた方の警咳に接する日々は、今の私にとっても非常に大きな財産になりました。先生は十九首のお生まれで、私の祖母の在所の二瀬川とも近く、親近感を覚えたものでした。国道1号線を走ってくる米軍のジープからお菓子をもたらったエピソードなどを聞いたことを覚えています。

会社の目の前、霞が関を貫く国1は、掛西の前につながっています。思い出す土地から東京に繋がる人の縁と、愛郷無限の思いを胸に、日々を送っています。

●東京冀北通信●

◆熊井 淳 中40回卒
昨年8月より、北区田端にあるグループホーム田端に入所しております。

◆熊井 鉄男 中42回卒
90歳 9ヶ月入院しております。日頃はお世話様になり有難うございます。

◆野口 文一郎 中43回卒
加齢とともに療養中です。今日まで大変お世話になり、有難うございました。

◆川合 睦 中44回卒
寄る年波のため、楽しみは読書だけとなりました。それも掛中で受けた国語のおかげと、感謝しています。齋藤先生、リクさん、ありがとうございます。

◆大石 忠生 高2回卒
コロナ禍を乗り越え、ますますのご発展を期待しております。（鈴木正具前会長から近況を伺っております）。

◆中村 正雄 高3回卒
身体が中古車並みで何とかやっています。大学生時代に掛川で最初のハム局（JA2BQ）を開局して以来、ボケ防止のために、時々機器のスイッチ入れたりにしています。会員の皆様のご健康をお祈りします。

◆伊藤 聡之 高4回卒
対馬のキス釣りを長年楽しんできたが（約40年）今年はコロナで5月、6月がキャンセル、7月やっと出かけた。8月、9月は暑いので休み、10月で予定している。11月も多分出かけるでしょう。元気です。

◆園田 清 高4回卒
加齢と共に外出が無理となり、昨年夏

心臓を患い、免許証も返納しましたので、車を手放しました。地域住民とのコミュニケーション造りや趣味の川柳・短歌等で過ごしています。皆様のご活躍を切に祈ります。

◆川村弘史 高8回卒

いつもお世話になっております。同窓の多くの方が社会の中で活躍されている様子をEメールなどでお知らせいただいております、うれしく誇らしく思います。小生は年相応に巣ごもり生活の中にも元気に過ごしております。

◆河原崎守彦 高9回卒

橋本会長はじめ、役員幹事の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

◆大井敏子 高9回卒

事務局の皆様いつもお世話様でございます。いずれインフルエンザの心配もありましょう。どうぞ皆さまお元気に運営の程、宜しく願ひ上げます。

◆兵藤哲夫 高10回卒

掛西の生物部から動物好きが高じて獣医大学に進み、横浜で動物病院を開業して60年になりました。昨年『一般財団法人兵頭哲夫アニマル基金』を設立して、動物保護福祉の各団体に支援活動を始めました。

◆萬代利一 高10回卒

校歌にある小笠山は今はどのような事になっているのか。我々のころはよく山に行ったが、「study nature not books」と言っていて自然に学べ、今の時代に合っていると思ひますがいかがですか。

◆横山隆治 高10回卒

5月株主総会で重任、常勤監査役を続けております。11月の総会中止は適切な判断と思ひます。

◆石川嘉延 高11回卒

他地区の同窓会支部と比べて若手の参加が多数見られ、勢いを感じます。今後益々の御発展を祈念いたします。

◆鈴木建 高12回卒

ペンネーム「渋谷健」写真家として2003年から、花の写真集カレンダー「花つれづれ」を販売しております。2021年版はアマゾン等で購入できます。



◆本間正宏 高12回卒

ここ6ヶ月は自粛生活を強いられ、運動不足の解消にと活動していたウォーキングも中止のため、吹き矢を始めました。ただし家内で限定してやっております。

◆粟倉健二 高13回卒

サミュエル・ウルマンの『青春の詩』を再度皆様にお勧めします。「日本で最も多く引用された文章」と呼ばれるほど多くの人々に感動と勇気を与え続けるこの詩は、コロナ禍で鬱積した心に力を与えてくれます。ネット上にこの詩に関するサイトは何千何万とあります。フェイク情報が心配な方は小生名での検索サイトをご参照ください。

◆神谷省吾 高13回卒

去る8月19日に元気に78歳を迎えました。横浜在住ですので一層ナーバスにコロナ禍の自粛生活をしております。BIKE・自動車のドライブは今もOKですが、コロナの中静岡県(実家等)へのドライブが困難で困っています。読書、散歩、ボケ防止のインターネット株投資等で日々元氣です。コロナが下火になる事とOB諸兄のご健勝を祈っております。

◆桑田歌 高13回卒

コロナ以来ステイホームで多摩川を越えられず、残念です。もう少し頑張つて2回目の東京開催のオリンピックを楽しみに。

◆大石武郎 高14回卒

コロナ禍の自粛生活の中で私に役立つているもの。①家庭菜園、開放的な畑で野菜の世話をすることでストレスからも三密からも解放されます。②昔習った太極拳、一人で、どこでも、いつでも無理なく出来て足腰を鍛えます。③ZOOMで会議、飲み会は家にいながら若い方と交流できます。便利です。

◆池田孝子 高14回卒

コロナ禍の為に年一度の集いもならず、残念ですね。私も主催する「花の会」、月二回の勉強会のみならず、年二回の観劇会も断念せざるを得ず、落ち込んでおります。事務局の皆様、この状況下でさぞ大変なことを存じますが、会の運営宜しく御願ひ致します。

◆中山紀子 高14回卒

総会で皆様にお会いできなくてとても残念です。今まで経験したことのない日々ですが、少しでも一日が楽しくなるように心掛けております。

◆秋野文字 高14回卒

私は、60年前に西高に入学しました。そして、この4月頃から、再び入学したような気持ちです。冀北会に心を、深く持ち始めました。37年卒業の「三七和会」は健在です。実際に会えなくても、同級生としての絆は、しっかりと感じます。唐突ですが、私は「数学」をやります。中学一年の教科書から、丹念にやるつもりです。来年の冀北会の近況報告に、何と報告できるでしょうか。

◆戸田鶴世 高14回卒

いつもご苦勞様です。

◆鈴木恒司 高15回卒

コロナ騒動で半年以上東京には行っていないですが、そろそろ出掛けようかと。外出は食品の買い物か病院行きとまさに老人の生活です。暑い夏が終わり、ゴルフシーズン到来を楽しみにしています。

◆山本武司 高15回卒

今年6月で76歳になり、薬剤師の資格を活かして千葉県の製菓メーカーで働いています。(家庭菜園も)。新型コロナ禍の中、総会中止もやむをえませんね。東京冀北会の発展を祈ります。

◆鈴木万文 高16回卒

群馬県に掛西出身者がいましたら、お知らせ下さい。

◆石川啓行 高17回卒

コロナ禍の中、取り纏めありがとうございます。田舎(掛川)へ帰る機会も少なくなりましたが、会報をネットで見ればと思ひます。

◆伊藤節郎 高17回卒

いろいろお世話いただき有難うございます。総会をいつも楽しみにしております。今後とも宜しくお願ひ致します。

◆間瀬壽子 高17回卒

冀北会のお世話をしてくださっている皆さま、いつもありがとうございます。コロナウイルスの感染を防ぐため、外出もままならず、田舎にも帰らず、友達にも合わず、静かな日々を過ごしております。またコロナが終息したら、世の中はどんなふうに変化していくのか? 思いを巡らせているのです。

◆永田真文 高17回卒

諸々お世話になり有難うございます。

◆岡本 浜子

高18回卒
御連絡ありがとうございます。今年1月24日に18回の同窓会を掛川で行いました。コロナ禍が広がる前に楽しい時間を共有できたことは、今となってはラッキーだったと思います。

◆鈴木 良彦

高18回卒
コロナ騒動が続く中、何が優先事項かを考える習慣を要請されることをプラスに捉え、「できる限り多くの事をやる」から「本当に大切な事だけをやる」ことに努めています。皆さんも手洗いや三密回避を励行してお元気で過ごしてください。

◆加藤 徹

高19回卒
コロナウイルス対応にて色々忙しくなっています。

◆鈴木 正真

高19回卒
弁護士になって以来ずっと共同事務所執務をしてきましたが、昨年末で辞めて今年からは個人で事務所登録をして業務をしています。今年は思いもよらないコロナ禍で全く予定が狂ってしまいました。個人事務所は意外にリモートワークに親和性があり、お蔭をもちましてマイペースで仕事と趣味の両立を図ることができています。

会長をはじめ役員の方々は、経験したことのない事態での会の運営が大変だと思いますが、宜しくお願い致します。

◆富永 二郎

高19回卒
コロナの為、同窓会が中止で残念です。同窓会、楽しみにしています！

◆橋本 和久

高19回卒
コロナ禍にめげないで、粛々と来年に向けガンバロー！

◆堀川 正

高19回卒
『病気を無くす本』を出版しました。

無くす対象の病気は、(第1部)がん(第2部)心筋梗塞、脳卒中、メタボ、痛風、水虫、関節痛、便秘など(第3部、第4部)かぜ、インフルエンザ、肺炎、COVID、新型コロナウイルス肺炎などからB5版124ページで、税込2354円で少し高めですが、ページ数などから出版社が示した最低価格ですから、ご容赦願います。

発売は10月12日で、アマゾンで買えます。また書店の店頭には並びませんが、出版社と本の名前(デザインエグ社、病気を無くす本)を告げれば書店でも取り寄せてくれます。



この本が、皆様の健康な生活の参考になれば幸いです！

◆寺澤 康夫

高20回卒
いつもお世話になります。運営経費の節減について、印刷・郵便だけでなく電子メールの併用もご一考いただければと考えます。

◆眞野 啓

高20回卒
現下のコロナウイルス終息が程遠い中、総会・懇親会が本年中止となったことは残念ですが、止むを得ないと思えます。来年に向けて、皆さんとふたたびお目にかかれる日が来ることを望み、毎日の生活が実りあるものになれるよう努力していきます。ダンス活動も少しづつですが再開されてきました。シャルウィーダンス！

◆山本 文昭

高20回卒
コロナ、猛暑と大変ですが、皆様お元気で。フレイフレイ掛高！

◆伊与部 みち子

高21回卒
コロナ禍がまだ収束していないので、通勤以外はなるべく自宅にいます。

しています。自由時間ができて何をしようかと考えた結果、大学時代に習ったフランス語の復習をすることにしました。50年ぶりのフランス語！

オンライン授業ですが楽しんでやっています。忘れていた言葉も徐々に思い出してきました。またサガンの小説をフランス語で読みたいです。語学の勉強は老後の趣味として皆さんにお薦めです。

◆妻木 良男

高21回卒
美味しい料理も食べられず、塩分控えめな生活です。コロナ禍でゴルフ・ハイキングも自粛中。多摩川でのゴルフの素振り、自主トレ中。古希を迎えた老齡一人。

◆森田 重敏

高21回卒
協同組織の金融機関を退職し、現在住まいの相模原市で行政書士を営業し、成年後見の仕事を中心に、十数人の高齢者の方の面倒をみさせてもらっています。一人暮らしで身寄りの無い高齢者が、更に増えているのを実感しています。コロナ自粛で現在は面会も十分にできない状況ではありますが、それぞれの道を生きてきた方々の終盤の人生にささやかですが役立つことができればと思っています。

◆常世 佳江

高26回卒
今年も10月に銀座で個展を開きました。来年5月の国展は美術館が休館しないかぎり開催される予定です。ご覧くださる方には案内状(入場券ハガキ)をお送りします。

◆三谷 充弘

高26回卒
横須賀藩御広敷番の家に生まれ、群馬県立沼田高校の前身学校創立から三十九年勤務した飯田万吉先生のご子孫に、今春沼田を訪問して頂く予定でしたが、コロナ禍で頓挫しました。

◆落合 紳哉

高26回卒
65歳を迎え、年金生活者です。契約記者としてスポニチに籍はありますが、東京六大学、東都大学中心に学生野球を取材しております。また東京六大学野球の「公式記録委員」としてネット裏で学生野球を見つめています。掛西野球部新チームは左右2人の投手がおり、楽しみにしております。

◆加藤 典之

高26回卒
コロナの影響で帰省できないことに閉口しています。年末年始は手を振って帰ることが出来ればと願っています。

◆下山 葉子

高26回卒
冀北会幹事より5年が過ぎました。昨年冀北会の先輩池田孝子様主催の「花の会」に参加させていただきました。古典芸能を楽しく学んでいました。コロナ騒動で中止になって残念です。来年は冀北会「花の会」が開催されることを願っています。

◆臼井 みなみ

高27回卒
大変ご無沙汰しています。岩手医科大学医学部を卒業し、横浜市内で主人と開業医をしています。時短をしながらも、今暫く仕事を続けたいと思っています。

◆太田 裕一郎

高27回卒
長く医薬品業界で仕事をしてきましたが、昨年からは、社会学の勉強を始めました。この年になって、世の中に知らない事があるなと、という気持ちです。新型コロナウィルス禍で引きこもっています。その分勉強時間がとれます。高校時代もつと勉強しておけば良かったと感じています。

◆杉森 正彦

高28回卒
会社生活も後2、3年かと思っておりますが、引き続き事務局のお手伝いはさせていただきますので、宜しくお願いいたします。

ます。

◆鈴木英輔

高28回卒

定年退職後は、孫たちに会うのを楽しみに妻とゆつくり過ごしております。コロナ後は是非皆様とお会いしたいと思っております。お手数ですが、宜しく願ひ申し上げます。

◆秋元 文子

高29回卒

新型コロナの影響で、いろいろ楽しみが減っていますが、元気に過ごして、また皆様とお会いできるよう、祈っております。

◆岡田 健治

高30回卒

同窓会役員、事務局の皆様、いつもありがとうございます。人との交流が制限される昨今、学生時代を懐かしく思い出すことが多くなりました。コロナの影響ではなく年のせいでしょうか。

◆岡田 昌宏

高30回卒

瞬く間に新型コロナウィルスのパンデミックは想定外の生活変容をもたらしました。このような渦中、週の半分位はTシャツにステテコ姿で仕事ができるといふ極めてささやかながら、解放感を伴う生活変容を味わっております。

◆田中 由枝

高30回卒

日頃より東京冀北会の運営にご尽力くださりありがとうございます。今年度の総会・懇親会の中止は残念ですが、コロナ渦中のこの状況では仕方ありませんね。恥ずかしなだけではあります、お声がけ頂きましたので会報に原稿を寄せました。

◆竹村 聖之

高34回卒

運営担当者様にはいつも感謝致しております。コロナウィルスの影響で増々郷里への足が遠くなっております中、冀北会の絆を感じられることがせめても

の慰めとして心を癒してくれます。今後もし宜しく願ひいたします。

◆堀内 正紀

高35回卒

定年まで10年を切りました。仕事の仕上げと定年後のために仕事中心の交友関係だったのを広げていきたいと考えています。

◆嶽本 あゆ美

高37回卒

メメントC公演『太平洋食堂』『彼の娘』作・嶽本あゆ美
12月25・6日に明治の大逆事件を描いた作品が杉並区・一座・高円寺にて上演されます。コロナ禍の新しい鑑賞方式でライブ配信があります。詳細はIP <https://taiheiyousyokudou.com/>

◆長谷川 晴彦

高39回卒

コロナ禍により、舞台活動は3月以降完全停止していたのですが、ようやく再開の流れが見えてきたところです。私個人としては伝統文化とは何か、その存在意義などを考える時間にもなりました。また、7月には小田原に転居し、今までと異なる環境で、気分を新たに挑んでいけたらと思っております。

訃報

◆小谷 祐三

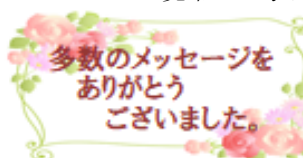
中39回卒

2019年4月9日逝去（長い間お世話になりました。家族）

◆吉野 哲郎

中42回卒

2020年4月10日逝去（老衰にて90歳で永眠しました事、ご報告致します。今まで色々とお世話になり、有難う存じました。哲郎内）



◆関 寿元

併1回卒

2020年5月逝去（長い間お世話になりました。コロナの中、5月中旬87歳で亡くなりました。）

◆島崎 芳夫

高2回卒

2019年3月10日逝去

◆青木 英雄

高3回卒

2019年12月2日逝去（日頃からのお声がけを大変有難うございます。これまでのお心遣いに感謝申し上げますとともに貴会の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。長男）

◆河原崎 徳郎

高3回卒

2020年3月19日逝去

◆鈴木 鉄男

高3回卒

2019年9月3日逝去（病気のため他界致しました。生前大変お世話になりました事を厚く御礼申し上げます。家族一同）

◆曾根 隆行

高3回卒

2020年4月1日逝去（87歳で永眠いたしました。生前は、大変お世話になったことと存じます。貴会の益々のご活躍を祈念しております。長男）

◆黒田 隆太郎

高4回卒

2020年4月6日逝去（永い間お世話になりました。4月6日まで25年通っているプールに行き、当日の夕食後何の苦しみもなく突然死致しました。最後の言葉が「あー美味しかった。ご馳走様」で、コロナでなくて本当に幸いでした。幸せな一生だったと思います。コロナ騒ぎの毎日、皆さま方どうぞお大事にお過ごしください。家族）

◆佐藤 佐三郎

高4回卒

2017年8月15日逝去（85歳にて永眠いたしました。生前は

大変お世話になり有難うございました。連絡が遅れて申し訳ありません。妻）

◆坂田 充三

高5回卒

2020年3月23日逝去

◆富田 甲子男

高5回卒

2020年1月17日逝去

◆坂口 利夫

高6回卒

2019年9月逝去（大変お世話になりました。ありがとうございました。お知らせと御礼まで。妻）

◆伊東 道行

高10回卒

2019年8月1日逝去（いろいろお世話になりました。皆様によくお伝えくださいませ。家族）

◆浅井 恵三

高11回卒

2020年6月逝去（長きにわたってお世話になりました。有難うございます。妻）

◆中野 日出男

高11回卒

2018年12月4日逝去

◆榎本 勝子

高12回卒

2018年6月30日逝去

◆松永 武

高13回卒

2019年7月20日逝去（御連絡ありがとうございます。病のため亡くなりました。妻）

【東京冀北会 Facebook】
<https://www.facebook.com/tokyo.kihokukai>
友達のみ公開
「友達申請」
お願いします

2019年東京冀北会同総会7ホト





会員ゴルフ会

興味のある方、是非メールの登録を！
 来年の東京東北会のゴルフ会復活第4回の
 開催をめざしています。
 (東京よみうりCC)
 是非多くの参加者を期待しています。
 鈴木正具 (高19回)
 090-4061-8084
 msuzuki@mirror.ocn.ne.jp

役員・事務局 (2019/11/16)

- 会 長 橋本和久(高 19)
- 副 会 長 森田重敏(高 21)
端詰正子(高 24)・野川雅江(高 26)
- 代表幹事 山村十吉(高 23)
- 事務局長 後藤利康(高 27)
- 事務局員 河本光由(高 23)・杉森正彦(高 28)
萩原隆司(高 28)・杉山文章(高 29)
野中俊文(高 37)・廣畑淳也(高 55)
- 会計監査 伊与部みち子(高 21)・内田金男(高 22)

会員ひろば



29回卒
幹事学年

2020年2月15日

昨年の東京冀北会同窓会当番幹事の打ち上げとして29回生9名が集まりました。同期横山茂弘さんの勤務先の熱海市のMOA美術館を観覧し、その市内にて会食をしました。楽しいひと時でした。



MOA美術館にて

【ホームページ「東京冀北会」シート「リンク」を更新しました。】

⇒（「東京きほく」で検索し、メニュー「リンク」で開きます。）



「掛川市」ホームページ 歴史・文化

----分かり易くおもしろいです。----

サイト内検索順序：「市民の皆様」⇒「子育て・教育」⇒「小中学校 副読本出版物」

- ・「新・わたしたちの掛川（歴史編）」PDF
- ・「なるほどなっとく金次郎さん」PDF

（東京冀北会 2代会長
大貫満雄さん監修）



掛川西高校 100周年「天守の杜に」

（中日新聞 chunichi web）

-----本年 120周年となりますが、その前にこの100周年のサイトも是非ご覧ください。東京冀北会会員からも複数の方が登場されています。-----



掛川西高等学校1969年卒業

（高21回）東京同窓会

LINEを利用したオンライン飲み会を行っています。写真は最近の開催時のスクリーンショットです。

連絡先：森田重敏

電話：042-747-0115
携帯：090-1654-5742

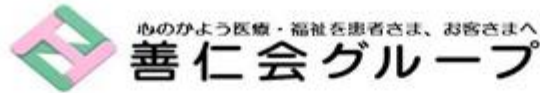


掛川西高第19回卒同期会 （昭和42年3月卒業）

日時：令和3年4月17日（土）12:30より
場所：レストランアラスカ プレスセンター店
千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル10F

コロナ禍の終息を信じて元気に集いましょう！

連絡先幹事：鈴木正具 090-4061-8084
田口幸男 090-2919-1687



医療法人社団 善仁会 理事 内田金男 (高22回卒)
神奈川県横浜市西区高島二丁目6番32号
TEL 045-453-6772 <https://www.zenjinkai-group.jp/>

1都2県で皆様のかかりつけ薬局として地域住民に貢献致します。
皆様のかかりつけ薬局として、お薬に関すること、お身体でお困りなことが
ございましたらご相談下さい。
お薬が取りに来れない方のために在宅業務も行っています。

有限会社ケアブレン〜くすの木薬局グループ〜
代表取締役 山村 十吉 (高23回卒)
本社：東京都千代田区内神田2-5-1 大手町NSビル B1F
電話：03-3252-0051

(東京エリア)
くすの木薬局調布店
くすの木薬局保谷店

くすの木薬局豊田店
くすの木薬局矢口渡店

(埼玉エリア)
こま薬局 (日高市)
くすの木薬局美園店

(千葉エリア)
ひまわり薬局 (津田沼)

第31回東京冀北会総会・懇親会会計報告

(令和元年11月16日)

出席者	
会 員	90名(1・2部参加86名)
来 賓	14名(校長、同窓会長、沼田高校関係者他)
計	104名
収入の部	
懇親会費	7,000円 × 87名(県東京事務所含む) 609,000円
年会費*	3,000円 × 211名 633,000円
祝儀	12名 115,000円
広告代収入	8名 66,000円
計 (A)	1,423,000円
(*年会費は事前振込分も算入する)	
支出の部	
会場・懇親会費等(景品・土産他・慰労費他)	725,207円
会報・資料印刷代	80,191円
総会郵送代(1764通)	169,466円
総会返信後納費	26,156円
諸経費(通信費・事務・振込手数料)	14,254円
計 (B)	1,015,274円

差収入 (A)1,423,000 - (B)1,015,274 = 407,726円
(剰余金407,726円は一般会計に繰入)

寄贈品 掛川市役所様・赤岩覚様(高10)
山村十吉様(高23)・野川雅江様(高26)

令和元年11月17日
東京冀北会事務局長 後藤利康(高27回卒)

令和元年度東京冀北会収支報告

令和元年4月1日～令和2年3月31日

(収入)前年度繰越金	790,426円
年会費 郵便振替分(141名)	432,000円
" 銀行振込分(5名)	15,000円
" 現金納入分(65名)	195,000円
幹事会費等個人負担分	184,000円
総会・懇親会参加費(87名)	609,000円
広告費収入(8件)	66,000円
雑収入(祝儀12名)	115,000円
収入合計 (A)	2,406,426円
(支出)印刷費(案内状、会報)	81,931円
総会通知郵送費(1,764通)	169,466円
総会返信後納費 ¹	26,310円
総会・懇親会費等(景品・土産・慰労費他)	735,207円
幹事会・反省会等費用 ²	267,296円
通信費(郵送費等)	37,818円
事務費・振込手数料	17,836円
各支部ご祝儀・交通費等	55,500円
支出合計 (B)	1,391,364円

(収支残高)(A - B)(次年度繰越金) = 1,015,062円

【資金管理】郵便貯金	734,000円
みずほ銀行	275,815円
現金	5,247円

令和2年9月15日

会計監査 伊与部みち子(高21回卒)
同 内田金男(高22回卒)

校歌

作詞 藤井金吾
作曲 埴福寿

一、岩根ごごしき天守台
その麓にぞわが校は
基礎めて逆川の
栄え行くこそ榮しけれ

二、雨降り嵐すさぶとも
指してや行かむ小笠山
希望の懸を射るまでは
めげず撓まず崩折れず

六、やがてまことの功なし
誉れは栄ゆる百錦
飾りて花の色そへよ
大和鳥根の山桜

第一応援歌

作詞・作曲 不詳

一、天守の森に草萌えて
志ある若人の
胸の血潮の燃ゆる時
咲くや万葉の花ごころも

二、青苔敷ける逆川の
青葉端月に風吹けば
熱血ほほにみなぎりて
見よや勇士のまなざしを

三、立てよ我等のますらをよ
ふるへ我等の同胞よ
七希望みは胸に燃え
衷心至誠の血はおどる

《東京冀北会ホームページ》

『東京掛中・掛川西高校同窓会 東京冀北会』
<http://www.tokyo-kihokukai.com/>



《メーリングリスト》google グループ
登録問合先：東京冀北会 事務局
tokyo.kihokukai@gmail.com

《編集後記》副会長 端詰正子(高24)

今年には想定外の波乱の年となりました。私たちがコロナ禍でステイホームしている中、医療・福祉、社会インフラを支える仕事に従事されている方々には頭が下がりました。また多方面に渡り、様々な影響で大変な思いをされている方がいると思うと胸が痛みます。当同窓会も今年には中止となり会報のみ発行となりましたが、多数の皆様にご覧いただき、頂き、また会報の寄稿、そして「東京冀北通信」のメッセージをありがたうございました。毎年素晴らしい内容に感じし前向きな姿勢にエネルギーが伝わり、この感動をできるだけ多くの皆様に共有して頂きたい思いで編集致しました。さて4月のある日、外部の方から「時間ができ実家にあつた先祖に関わる古文書を調べていく内に貴会ホームページの三谷充弘さん(高26)の投稿『横須賀藩』の記述に行きつき、話を伺いたい」というメールを受け、三谷さんとの情報交換が実現するという出会いがありました。横須賀藩家老、永富謙八の子孫の方でした。10月、私は獄本あゆ美さん(高37)潤色脚本・演出の演劇をネット配信というスタイルにて観劇し(今回のテーマは「邦楽」)、コロナ禍により一気に進んだ生活スタイルのオンライン化の便利さを改めて感じました。しかしライブで見る迫力は全く感動が違ふことでしょう。「東京冀北会」も「WITH&AFTRコ罗纳」での新たな同窓会のスタイルを模索しつつも、感染が終息し以前に近いスタイルで、そしてオフラインでもオンラインでも皆様にお会いできることを願っております。

東京きほく会 検索

東京掛中・掛川西高校同窓会 東京冀北会

検索欄、QRコード、連絡先情報

発行日 令和2年11月
発行者 橋本和久
発行 東京冀北会